

埼印エだより

第95号 平成17(2005)年6月25日発行

発行:埼玉県印刷工業組合広報委員会 ☎360-0031 熊谷市末広1-63 ☎048(524)4186 FAX 048(524)7680

URL <http://www.saipia.net>
Eメール saiinkou@orion.ocn.ne.jp



狭山 七夕祭り 写真協力：光版社印刷株式会社

[用紙提供：埼洋会]

印刷協力 狹山支部

フィルム圧着はがき／封書システムの—— KDK

オンデマンド印刷～ オフセット印刷～ **対応！**

●1台でフィルム圧着ハガキ、圧着封書全てが揃う…

●艶出しPPラミネート加工もできる～

●コンパクト両面同時ラミネータで

大型機以上の機能と能率

●フィルム圧着ハガキ——

二つ折り(V型、L型)タイプ。

往復巻き折りタイプ。

三つ折り(2折り)オーブンにも

ワッパーに対応。

二つ折りなら4丁付、往復巻き

折りやZ6面オープンなら3

丁が無駄なく効率的にレイア

ウトできる。

A3ワイドで薄紙から
厚紙までの汎用性。



世界初。
小型全自動両面同時ラミネータ

ハガキ両面ラミネータ

SR-1500

PAT.P

簡単に、そして美しく。オンデマンド印刷～
オフセット印刷～
対応！

オフィスですばやくフィルム圧着ハガキが
つくれる

2ツ折ハガキ～
往復ハガキ～
3ツ折りハガキ～
各種類つくれます！

- 折り加工
- 断裁加工
- 圧着加工

上記工程を1台で全て可能

(幅)355×(長)935×(高)330mm



卓上型
ポストピエ

PAT.P

オフィスで活躍！

フィルム方式だから少量ロット～
大量ロットまで必要量を自由処理可能！

ニスによる悪臭から解消、健康な「ハガキ」づくりを

- 抜き取り校正も可能。
その場で再接着できます。

ビジネスフォーム用

新価格
おどろきの

スマートな“ミニ”サイズ
オフセット印刷のほか、トナーによる
オンデマンド印刷にも完全対応



美しい…
フィルム圧着ハガキから
フィルム圧着封筒まで

ハガキ圧着シーラー

PAT.P

ハガキ圧着シーラー・ミニ

TC-500/TC-1000

連続フォーム用
フィルム圧着ハガキ量産機

ビーエフシーラー

PAT.P

(長)3330×(幅)700×(高)1040mm

- 開封してもカールしない整理保存が
しやすい
- 高級感があります
- 水ぬれによる開封不能ナシ
- ニスによる悪臭ナシ

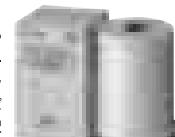
ハガキフィルム

KDK独自の芸術的シナヤカな
開封感触を有した特殊フィルムです。付け合わせ印刷紙面
にラミネートする大量生産用
です。スピーディーにフィルム
圧着ハガキ、封書がつくれます。



ケータック フィルム

印刷表面の艶出しPPラミネー
ト用フィルムです。パンフレッ
ト、カレンダー、パッケージ、ボ
スターなど美観アップの光沢
加工に威力を発揮します。



フレーン(透明)、マット(つや消し)の2種類。

〈メンテナンスは責任ある安全保証付です〉

KDK

ケイティケイ株式会社

京都市南区西九条比永城町71 TEL.075-671-7158㈹ FAX.075-671-7821

●お問い合わせ先——営業機械開発部迄

埼印工組平成17年度通常総会開かる

— 5/20(金)、熊谷・平安閣にて —



5月20日(金)午後4時から、熊谷平安閣(5階平安の間)で、当埼印工組平成17年度通常総会が開催された。

司会・櫻井豊喜専務理事の第一声で総会は始まった。開会のことば佐藤副理事長、慣例の印刷人綱領唱和は、新井副理事長がリードした。

次いで、新理事長が登壇し、我が埼玉県印刷工業組合がおかれた経済環境の現況に触れ、その中で現在とり組むべき課題、とり組まねばならない課題について、出席組合員に対し理解を求めた。

その第1は、官公庁における印刷物の製作授受を物品売買とみなすのではなく、製造物の請負契約として取扱うようにすること、第2は、従来印刷業者の既得権として認められた在版利用が、版権は顧客にあり、との認識の一般化の中で、収益をきちんと組みこんでの見積契約に

すべきこと(業界秩序の確立)、第3にデザインコンペの有償化を慣行ルールにすること、これらについて県に申入れしているし、これからもより強力に申入れしていくこと、他方で請願、条例化の要求をして働きかけることが提起された。新理事長の明確な主張で、納得のいくところである。

議長選出となり、慣例に従い、地元熊谷支部長夏目印刷夏目義夫氏が議長席についた。以降、議事進行は夏目議長により進められた。

第1号議案=平成16年度事業報告承認の件、第2号議案=収支決算承認の件は一括上程、承認された。

決算については古瀬、椎橋両監事からこれまで丁重な監査報告を受け、両件は深井事務局員の簡にして要を得た説明で組合の財政状況が語られた。総会出席の組合員にもよく事情をのみこめたところである。



豊かな新世紀を拓く！

— 新しい時代の「企業づくり」の
アドバイザー —

- 印刷関連機器・材料販売
- Macintosh・Windows出力・教育・保守サービス
- ITビジネス支援事業

設楽印刷機材株式会社

Human Balance
SHITARA

本社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700
宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385
埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562

続いて第3号議案=新年度事業計画（案）承認の件、第4号議案=収支予算（案）承認の件も、原案通り承認された。

収支予算（案）では収入不足を一時退職引当金流用で補うという、組合運営ではかつてなかった内容も含むものであったが、皆さん苦渋の選択を余儀なくされた。

第5号、第6号議案（内容略）も提案通り可決した。報告事項として、埼玉県中小企業団体中央会からの就職情報誌の一括受注、特別事業「たんぽぽ計画」事業の件が書面と合せ報告され、これも了とした。ここで議事一切終了して、議長解任となり、のちの進行は櫻井専務理事に戻った。

今期は役員改選はないが、病気静養で退任した間庭副理事長（共済担当）に感謝状と記念品が贈呈された（大宮支部高橋小佐治氏が代理で受け取った）。

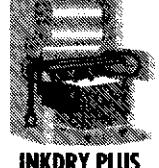
閉会のことば、二重作副理事長が務め、総会日程はすべて終了した。このあと暫時の休憩をはさみ、4階のグレースの間で、関連業各社の方々をまじえての懇親会が行われた。





印刷機材の総合商社

KINSEISHA
CO., LTD. 株式会社錦精社



【機器販売】

アダストドミナント印刷機械総販売元
INKDRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機・DTP関連機器
製版・断裁・製本機械
印刷用資材(PS版・インキ・薬品・その他)

さいたま支店

◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
◇ 〒336-0072 さいたま市浦和区領家5-12-16
◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

機材部
Total Supply for Print
写真製版機材・インキから
印刷機まで全ておまかせ

写真製版部
Assistance for More Comfort
一步リードした製版システム技術
未来型印刷産業をクリエイト

グラフィックアーツシステム部
Consultation for Progress
プロフェショナルなDTP・プリプレス
Macintoshからハイエンドシステムまで
業務にあったシステム・設計から運用まで、トータルでサポート
自費出版・カタログ・社内報・会社案内・チラシなどの制作をお手伝いします。

株式会社 堀口プロセス機材

本社
群馬県渋川市1783

営業本部・写真製版部
北群馬郡吾妻町大字小倉字北田461-3
TEL (0279)23-1319 (0279)54-7575
FAX (0279)54-3563

長野事務所
長野市大字栗田16 伊藤ビル1F
TEL (0262)28-1502
FAX (0262)28-3735

=ISO14001 認証取得=
—レンタルウエス—

ラフト資材株式会社

E-Mail : fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp
URL : http://www.raft-inc.ne.jp

本 社 : 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢4-14-25
tel 03-3965-7231 fax 03-3965-8795

横浜営業所 : 〒254-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町516
tel 045-814-3779 fax 045-814-3912

美里工場 : 〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町関280-1
tel 0495-76-1315 fax 0495-76-2742

第21回 埼玉県印刷営業士会総会開かる

埼玉県印刷営業士会第21回総会が、6月4日(土)、熊谷平安閣で開催された。最初に矢島会長が、「最近の新聞紙上などでは、大手企業は業績好調で、増収増益と景気良い記事を目にしますが、一方、中小企業に於いては、いまだに先が見えない厳しい状況です。昨今印刷業界も業態変革をしないと生き残れないと言われています。印刷営業も「営業変革」しないと営業として生き残れない時代ではないでしょうか。受注形態も時代と共に変わり、電子入札、CD、メール等の入稿、IT時代は益々お客様とのコミュニケーションが取りづらくなると思われます。



だから今こそ、お客様との接触を密にしなければならない時代なのです。それには、基本である印刷に関する引き出しをいかに多く持っているか、外注先をいかに多く知っているかなどが、お客様とのコミュニケーションには、必要不可欠なもの、また受注拡大、売上拡大に結び付く鍵になると思われます。お客様に仕事の相談を受けたら、その品物が仕上がるまでの行程を3~4通り、すぐ頭の中にシミュレーションでき、お客様との会話の中から先方が何を望んでいるのか、「価格なのか」「品質なのか」「納期なのか」等を判断し、色々な提案やアドバイスができる営業が、お客様から信

頼を得られ、喜ばれる営業マンだと思います。このように情報を持ち提案できる営業なら、お客様も会ってみたい、話がしたいと思うでしょう、単なる「ご用聞き営業」なら今忙しいから仕事があったらメールするよ、で終わってしまうでしょう。

ご用聞き営業も、それなりの良さもありますが、IT時代の昨今では、徐々に淘汰されてしまうのではないかと思われます。どうか本日の講演をお聞きになり、皆様ご自身も営業変革を行い、スキルアップにつなげてお客様とのコミュニケーションを大切にしながら、信頼され喜ばれる営業マンになって頂ける事をお願いし、ご挨拶に替えさせて頂きます。本日は有難うございました。」とあいさつした。続いて、会長が議長となり、議事に入った。第1号議案、平成16年度事業、決算報告承認に関する件が提案され、拍手により承認された。小幡監事からは監査報告があった。続いて第2号議案、平成17年度事業計画案、予算案承認に関する件が提案され、拍手により承認された。

来賓として、埼印工組の新理事長が祝辞を述べた。「営業士会総会、おめでとうございます。今、印刷業界は大きな転換期であります。バブル崩壊後12年になりますが、印刷は大日本、凸版の二極化が進み、9名以下が8割という中小企業にそのしわ寄せがきています。市町村の合併に伴い、広報誌の仕事も減ります。個人情報保護法の施行で、その仕事自体も減っています。官公需も歯止めがきかない。県知事にも陳情に行き、埼玉の仕事は埼玉に、とお願いしております。お互いに首を絞め合っている現状で経営者も努力しておりますが、営業の方々も資格をとりレベルアップをして行き、適正な利潤を上げられる企業体质を作るようになります、その原動力は営業マンにあると思います。業界の秩序維持と発展には、最先端にいる皆様が経営者と力を合わせてがんばっていただきたいと思います。」

このあと、浦野啓子氏による「お客様とのコミュニケーションのとり方」の講演が行われた。

●洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店を●

横吉 河内屋紙深谷支店
河内屋紙深谷支店
大塚紙店
大塚紙店
清口洋紙味
清口洋紙味
埼玉紙業株
埼玉紙業株
石井紙販株
石井紙販株
武正林
武正林
埼洋会会員
埼洋会会員

営業士会セミナー

上手なお客様とのコミュニケーションのとり方
～営業マンセンスを磨こう！～



講師 浦野 啓子氏

講師 松尾 友子氏

1. 「表現力」には不可能がない！
 - ・自己認識度を高めるには
 - ・当たり前のなかから生まれる最高で最良のサービス
2. 会話で決まる売り上げ高
 - ・特級品と言い切れる話題とは
 - ・ユーモアが好かれる、オーラにかわる
 - ・会話のイロハは人の価値
3. 好まれる態度を意識しよう
 - ・センスがすべてを決める
 - ・お辞儀でも見せ場の一回が勝負
 - ・名刺は交換せずに先手必勝
4. まとめ

“出会いに感謝と感動を”

講師に浦野啓子氏、松尾友子氏を迎えて、美人のお二人の講演となり、名刺交換の実践、ハンカチを使ってのプレゼンも、講師に指名された営業士は、これから仕事へ役立てるべく、真剣に取り組み、個性を發揮していた。

懇親会では講師お二人も含め、全員で肩を組んで「青い山脈」の大合唱となり、和気あいあいとした雰囲気でお開きとなった。

関東甲信越静地区印刷協議会下期例会開催される

去る3月2日、東京・日本橋の大日本インキ化学工業株会議室において、平成16年度下期例会が、神奈川県工組の主管で開催された。

最初に堀地区協議会長(新潟県工組理事長)が「昨年新潟を襲った2度の災害に対して、全国の皆さんからエールや励ましとともに多大な義援金を贈っていただき、お礼を申し上げる。被災者に対しての義援金配分を完了し、復興中になります。残額については地域社会での復興の手助けになればと考え、学童にノートなどの文具を贈らさせて頂いた。また、今年1年掛けて防災マニュアルの編集を行い、新潟で開催される全国大会時に配布することで、危機管理の参考になればと考えているところです。」と感謝の意と活用策を述べたあと、「今回から地域協議会運営については地域の独自性を発揮することで、互いに刺激し合いながら組織の維持向上に努力してゆくことになった。従って本日の協議会には全印工連浅野会長の出席はありませんのでご承知置き下さい。平成17年度に新潟で開催される全国大会は50周年の節目を迎える大会であり、地区協議会一丸となって特色のある有意義な大会にするべく、各工組の皆さんと相談しながら是非成功させたい。ご承知のとおり、新潟は中国、韓国、ロシアなど、東アジア諸国との貿易港として役割が大きいことから、これらの国の方々(業界人)を招待して開催することも有意義ではないかと考えており、各工組の皆さんと検討し、新しい風を巻き起こす大会になるよう努力したい。頂くご支援の最大なことは、今日お集まりの皆さんを初め一人でも多く方々に参加して頂くことです。」と結ばれた。

続いて全印工連武石専務理事による「新潟県中越地震義援金募集結果、2008計画、印刷用紙問題(輸入紙調査研究会)、個人情報保護法への対応」などの業界現況報告がなされたあと、協議議題に移り「官公需対策について」各工組の取り組み状況などの報告と意見交換が行われた。次に第53回年次大会開催にあたって、主管県を埼玉県工組と決め、当工組の新理事長が「本日ご案内のとおり7月15日の開催日には愛とロマンをもってお迎え致しますので、多くの方々のご参集をお待ちしています。」と挨拶し、協議を終了。休憩をはさんで理事長会、分科会が各自開かれた後、各分科会の討議結果が各座長より報告されて、平成16年度下期例会を終了した。

NAGAIKIKAI
ISO9001認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

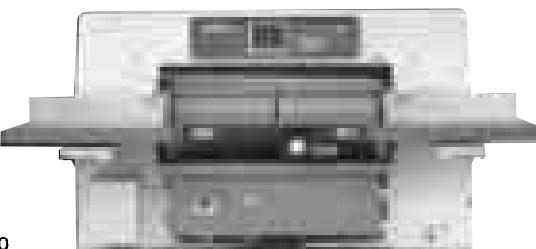
株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11
TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL <http://www.nagaikikai.co.jp> E-mail sales@nagaikikai.co.jp

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機

NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)



平成17年度 青年部会通常総会 開催報告

平成17年度青年部会通常総会が、埼玉県印刷工業組合の新理事長にご出席頂き、熊谷市の「ハートピア」にて開催されました。

挨拶で新理事長は、県との交渉について、また、個人情報保護法の影響などについてお話をされました。



平成17年6月3日(金)
熊谷 ティアラ21「ハートピア」



その後、飯田青年部会長の議事進行により、平成16年度の事業報告・収支決算について、また、平成17年度の事業計画(案)・収支予算(案)について審議され、全て満場一致で承認されました。

会員の皆さん、今年度も宜しくお願い致します。

よいものだけを…

ムトウユニパック

MUTOH UNIPACK Co.,LTD.
TOKYO

さいたま／埼玉県さいたま市大宮区郷の内町1-698-1 ☎048(647)6100 FAX048(644)4414
本社／東京都江東区永代1-7-12 ☎03(3642)1141 FAX03(3643)6654
URL: <http://www.mutch-u.co.jp>

 design Pad®

デザインパッド®

<http://design.yamazakura.co.jp>

株式会社 山 櫻 大宮支店／〒331-0814
さいたま市北区東大成町2-516

折込広告は「生活の情報源」。

埼玉県の地域情報誌として、毎月発行する「埼玉県版」「東京版」「関東版」「関西版」など、各版別に特化した情報源として、多くの読者に愛用されています。

「埼玉版」「東京版」「関東版」「関西版」など、各版別に特化した情報源として、多くの読者に愛用されています。

「埼玉版」「東京版」「関東版」「関西版」など、各版別に特化した情報源として、多くの読者に愛用されています。

「埼玉版」「東京版」「関東版」「関西版」など、各版別に特化した情報源として、多くの読者に愛用されています。

埼印工組・青年部会 合同セミナー開催される

平成17年6月3日(金)
熊谷 ティアラ21「ハートピア」

テーマ

「ビジネスの成功を勝ち取る印刷経営とは・・・」

講師 ハイデル・フォーラム21(HDF21)顧問 根本安規 氏



去る6月3日(金)、熊谷市において埼玉県印刷工業組合と青年部会の合同セミナーが、ハイデル・フォーラム21顧問である根本安規氏を講師にお迎えして開催されました。

根本氏は、昭和30年代頃に製版の作業を担当された後、印刷オペレータも務めたという、いわゆる「技術屋」だったそうです。その後、経営者の方針により「工場長」から突然「営業部長」に配置転換させられ、顧客とのやり取りに大変苦労されたそうです。

セミナーのテーマは「ビジネスの成功を勝ち取る印刷経営とは・・・」ということで、従来の印刷会社の姿、



そして今後の展望について講話されました。

今までの印刷会社は技術や設備だけを武器にし、印刷物を作ることについてはクライアント側が決めるという「待ち」の営業スタイルでした。印刷はメディアの中の一つであり、「メディアミックス(補完効果)」「クロスメディア(相乗効果)」などの視点から、クライアントに印刷物を発注させるように働きかけることが今後は必要になってくる、そしてIT化・デジタル化の中に新しいビジネスチャンスが沢山あり、待っていては駄目である、これからは会社の設備や規模ではなく、営業マンの質で発注先を決めるようになるから、営業が変わらなければ生き残れない・マーケティング思考の創知型経営にシフトしなければならない、というお話をしました。

お話の所々に時代を見越した鋭い指摘があり、会場のあちこちから「なるほど」という声が聞かれました。

約2時間という限られた時間の中で、大変中味の濃いお話をして頂きました。根本様、誠にありがとうございました。

また、今回のセミナー開催にあたり、ハイデルベルグジャパンの片野坂会員にご協力頂きました。ありがとうございました。

新しい扉をいっしょに開けませんか?

モリサワ 東京本社:〒162-0822 東京都新宿区下落合町2-27 Tel.03-3267-1231
<http://www.morisawa.co.jp/>

これからは、
フォント、外字、データベース、自動組版…
すべてWEBブラウザ上で解決!

WEB時代が求めた、
MDS
モリサワ・ドキュメント・ソリューション

多彩なデータ活用を実現する
XMLデータベース
MDS-XMLDB NEW

XMLのデータベースエンジンにメディアフォージョン社の「Yggdrasil(イグドラシル)」を採用。高速検索をはじめ多彩なデータ活用を実現します。WEBブラウザ上で力が行え、オペレータがXMLを意識しない環境を提供します。

XMLデータベースから自動組版へ
自動組版システム
MDS-B2 NEW

WEBで外字をフル活用できる
外字ツールセット
MDS-GAIJI NEW

多くの外字を扱ってきたモリサワのノウハウを結集、印刷用途に耐える高品質かつ豊富な外字セットを用意。外字入力・データベース管理・WEB、印刷までをシームレスに運用できます。

Pマーク取得奮戦記

本年4月より個人情報保護法が施行されました。ISOの取得には慎重であった当社ですが、Pマークの取得には違いました。名簿印刷を請け負っていることや県庁や市役所などの重要文書の印刷も請け負っているので、これは絶対に取らなければならない、取らねば会社の屋台骨にヒビがはいる、という気持ちで参加しました。

埼玉県印刷工業組合が会員に呼びかけて7社の共同取得事業として始まりました。最初に手にした資料、日本規格協会発行「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項 JIS Q 15001」を読むとチンパンカンパン。だいたい「コンプライアンス」って何だ。

広辞苑を引くと出てこないので英語の辞書を引く。Compliance 「(要求・命令などに)従うこと」とある。なかなか具体的なイメージが湧かないが、「個人情報を保護するためのシステム作り」ということのようだ。

デジタルシステム部の責任者をリーダーに、営業部、デジタルシステム部の若手を中心にプロジェクトチームを結成した。全社が一丸となって共通の目標を目指すことも、Pマーク取得に伴うメリットである。

若手の仕事振りを見ているとテキパキと仕事をこなす者、指示を受けて初めて動き出す者な

関東図書株式会社

代表取締役 岩渕 均



ど、個性が見られたのも収穫であった。

各々の長所短所が掴めることは今後の指導に役立つだろう。最終段階を迎えた今、過去の10回の講義等を振り返ると、イメージの掴みにくい要求事項であったが、講師が噛み砕いた解説をしてくれたこと、および、実際の申請書づくりを指導してくれたことから、社員一同おおよそ理解できるようになった。

現在、申請書を作成中で、6月には申請する予定である。

社員一同力を合せ「個人情報を保護するためのシステム」を構築したことは、社員の結束を強め、お客様からの信頼を得ることに役立つものと確信している。

関東五県印友会開催さる

6月10日(金)、つくば市において関東五県印友会が茨城県工組の主管で開催された。

会議に先立ち筑波宇宙センターの見学会があり、実物大の人工衛星模型や宇宙ステーションの作業室、各種試験施設を見学、スケールの大きさを感じた。その後筑波山江戸屋に場所を移して印友会横山会長の挨拶で会が始まり、来賓として関東五県厚生年金基金小口理事長が基金の概況を含めて挨拶した。

つづいて議事に入り、はじめに各県工組から官公需問題の取り組み状況の発表があり、議論

の結果、各県が足並みを揃えて活動していくことが申し合わされた。次に組織拡大と強化について、群馬県工組から活動事例などが紹介され、加入のメリットをどう納得してもらうか、今まで以上に情報交換を密にしてゆくこととした。次いで茨城県工組から提案された「関東五県印友会の運営に関する件」について討議し、一部を修正して承認され、会議を終了した。

続いて懇親会が開かれ、宿泊先の84歳になる大おかみによる「がまの油売り」口上のアトラクションを楽しみながら、お互いの労をねぎらうとともに、再会を約してお開きとなった。

高品位印刷の頂点に立つ新鋭機 OLIVER-SD/SDPシリーズ

R-475SD
8x600mmまで対応
延4色両面兼用オフセット印刷機



OLIVER-SD/SDPシリーズは進化する印刷技術、そして次世代の印刷業界ネットワークに対応するハイスペックモデルです。

- OLIVER-475SD/SDP 菊半裁寸延4色片面機/両面兼用機
- OLIVER-575SD/SDP 菊半裁寸延5色片面機/両面兼用機
- OLIVER-675SD/SDP 菊半裁寸延6色片面機/両面兼用機

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

sakurai

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138
名古屋営業所 〒451-0084 名古屋市西区上堀越町2-9-1
TEL.(052) 524-5541(代) FAX.(052) 524-5545
大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679
九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670
岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260(代) FAX.(0575) 33-3146



ISO 9001認証取得
BO 14001認証取得
生産技術本部

熊谷支部総会

埼玉県印刷工業組合熊谷支部の総会が、去る5月12日(木)熊谷市障害福祉会館において、会員16社中9社の出席をえて開催されました。

昨年度まで支部長を務めていた関周司氏(関印刷株)から夏目義夫氏(夏目印刷)へとバトンタッチされ、その他の議案についても全て滞りなく可決し、平成17年度熊谷支部の新たなスタートとなりました。

新役員は以下の通り。

支 部 長	夏 目 義 夫	(夏目印刷)
副 支 部 長	飯 田 一 義	(大同印刷株)
理 事 関	周 司	(関印刷株)
理 事 市 川	博 也	(株)太洋社印刷所
理 事 神 山	茂 和	(有)木暮印刷
会 計 梶 塚	光 男	(光陽社印刷所)
監 察 榊 原	英 雄	(有)文京社榊原印刷

西部印刷工業組合、研修旅行を実施



梅雨時期ながら好天に恵まれ、6月19・20日、25社参が加して研修旅行が行われました。

19日は、今市ウエスタン村にて昼食、龍王峡、もみじ谷大吊橋、そして4時半頃には宿泊する八幡屋に到着した。旅の疲れを温泉に流してから各会員相互に業界の現況、これから経営等話し合い、懇親会となりました。大変盛り上がった一夜となりました。

20日は、あぶくま洞を見学、小名浜港経由にて帰路に着きました。会員の親睦も図られ、有名旅館にて日頃の疲れを癒し、大変有意義な研修旅行となりました。

萩原英夫 (有)萩原印刷所

バックカーボン・ナンバーリング印刷 カッターミシン・伝票丁合

信頼と技術、ガツツなパートナー深谷カーボン



株式会社深谷カーボン

代表取締役 深町満夫
ホームページ <http://www.ksky.ne.jp/~youichi/>

電 話 (048) 520-1649(代)

F A X (048) 520-1410

埼玉県熊谷市上川上952-5



FUJIFILM
I&I-Imaging & Information

DDCPの世代交代、
PRIMOJETから。

i-Communication

「インクジェット方式は、本格DDCPには使えない」。
そんな“古き時代の観念”を、この正統的な美しさ・頼もしさで
ファインジェットブルーファー『PRIMOJET』が、肅然と打ち破ります。

[1b1p TIFFにフル対応] [優れたマッチング精度] [モアレも判別できる近似網点]
[ハイレベルな特色再現性] [トータルな色管理に貢献] [スピーディーで低成本]

PRIMOJET
[プリモジェット]



富士フィルム グラフィックシステムズ株式会社 ホームページ <http://fgs.fujifilm.co.jp>
本社 〒101-8452 東京都千代田区神田錦町3丁目13番地 竹橋安田ビル 03(5259)2300

会社めぐり

～「過渡期」～

有限会社井坂印刷

専務取締役 井坂 功

弊社有限会社井坂印刷は、昭和41年10月1日に埼玉県大宮市（現さいたま市西区）で産声を上げました。

当時は高度成長期、東京オリンピックの開催や新幹線の開業等「もう戦争ではない」という言葉に象徴されるように、日本全体がイケイケの頃ではなかったかと思います。そんな時代背景の中で、弊社は全く何もないところからの創業ありました。

弊社代表取締役井坂亨（父ですが…）が、「お前達にはすでに基礎がある。俺はドライバー1本でさえ自分で手に入れた」とよく言いますが、本当に何もないところから中古の印刷機を入れ、コツコツと営業を重ね、少しづつ規模を拡大してきました。

製造業の中でも、印刷業は「力たい」「景気にあまり左右されない」と言われ、大儲けはできないけれど、弊社のような吹けば飛ぶような小さな会社でも何とか食っていく。「右肩上がり」という言葉がありますが、あまり肩は上がらないけれど下がらないという状況の中で現在に至っています。

さて、我らが印刷業界も御存知の通り、他の業種に負けず劣らず、様々な技術革新を行なってきました。

活字から写植、そしてDTP、活版印刷からオフセット、そしてオンデマンド、大量印刷から小ロット、短納期化といった具合です。その都度、設備投資をして、人材を育成してきた先輩方には頭が下がる思いです。

弊社も社会情勢、業態変革の中で少なからず変化をしてきましたが、さて「右肩下がり」のこれからにどう対応していくのか、多様化する顧客のニーズにどう応えていくのか、それを考える時、企業としての「情報収集能力」と「企画立案能力」の必要性を痛感します。

そして、その2つのレベルアップを弊社の最優先事項とし、社の発展を期したいと思っています。

最後に、諸先輩方を差し置き、記事を書かせて頂いたことに感謝し、埼玉県印刷工業組合の益々の発展を願い、結びとします。

歴史の上に何か付加価値を！

アサヒ印刷株式会社

代表取締役 新井 正敏



日頃より邦愛飲の方々、関連企業の方々には大変ご協力をいただきまして感謝しております。「会社めぐり」の原稿依頼を受けまして、当社の歴史と今までの流れ、そしてこれから展望を含め、PRを兼ねて書かせていただきたいと思います。

初代の祖父である新井敬貴が、今の岩手大学農学部を卒業し農園を営んでおりました。ところが、縁あって印刷業をやることになり、明治43年（1910年）5月に創業しました。

「3つの大戦をくぐり抜け、よくここまで無事にやつてこれたものだ」と話していたことを、私も小さいながらよく覚えております。そして、2代目の父、正之が昭和34年に継承し、3代目の私が昭和63年に引き継いだ訳です。

その間、昭和50年代までは、当社も活版印刷を中心操業をしておりました。その後急速にコールド化が進み電算写植へ、1990年代にはDTPの時代になり、少しづつ体制を整えてきた次第です。そして今やIT社会に突入し、いやが上にも対応せざるを得ない状態になり、現在に至っております。

この10年余の技術革新には、「1年ひと昔」とさえ感じるほどの変化です。当社も今、フルデジタルを目指し、MAC、WINDOWSの2ライン体制を構築、CTPも2ラインを組み込み、ワンソースマルチメディア企業として紙メディア、電子メディアを模索し、作り上げている最中です。自社の特徴をどう生かしていくのか？また、組織をどう確立していくのか？ペーパーレス社会になるのか？人的な問題、等など悩みは尽きません。業態変革を推進していく中で、時代に合わせた対応が迫られています。ある方が「どんな厳しい時代にあっても難しく考えず、業務の態勢を時代に合わせろ！」それが業態変革なのだ」とおっしゃっていました。「それができれば苦労はしないよ」と考える日々ではありますが、当社もISO・プライバシーマークを取得し、5S運動を展開、ひとまず厳しすぎる時代に合わせ、その中から当社にあった付加価値を作り上げていこう、と頑張っております。そして、社会に必要な会社になればと願っています。

終わりにあたり、組合員の方、関連企業の方が、それぞれ協力し合い共存共栄しかないと考える今日この頃です。

人事往来

3月2日 (東京ディックビル)
関東甲信越静地区印刷協議会
出席 新理事長 大川 二重作 吉田 新井 佐藤
岩渕各副理事長 櫻井専務理事 事務局深井

3月17日 (本塚会計事務所)
打合せ
出席 新理事長 櫻井専務理事 事務局佐々木
関東甲信越静打合せ (組合事務所)
出席 新理事長 佐藤組織委員長 櫻井専務理事
事務局

4月1日 (組合事務所)
営業士会監査
出席 大塚 小幡両監事 事務局佐々木

4月6日 (東京トーワインビル)
全印工連第4回組織・財政委員会 出席 新理事長

4月8日 (組合事務所)
青年部役員会

4月12日 (本塚会計事務所)
会計帳簿検査 出席 事務局佐々木

4月14日 (組合事務所)
監査会
出席 古瀬 椎橋両監事 新理事長 櫻井専務理事
事務局

広報委員会
出席 新理事長 櫻井委員長 小倉副委員長 大谷
飯田各委員 事務局

4月18日 (組合事務所)
予算会議
出席 新理事長 大川 二重作 新井 佐藤 岩渕
各副理事長 櫻井専務理事 事務局
ニュープリンティング取材
出席 新理事長 二重作 岩渕各副理事長
櫻井専務理事

4月20日 (健保会館)
全国健康保険組合本部地区協議会
出席 二重作副理事長

4月21日 (パレスホテル大宮)
中央会第1回理事・評議員会 出席 新理事長

4月25日 (本塚会計事務所)
打合せ
出席 新理事長 岩渕副理事長 櫻井専務理事
事務局佐々木

4月26日 (東京ディックビル)
全印工連第1回理事会・全印政連総会
出席 新理事長

計 報 (事務局)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

3月1日	株高山印刷 (狭山) ご母堂 高山タツ様
5月16日	関東五県厚生年金基金理事長 ご母堂 小口千代子様
6月8日	望月印刷(株) (大宮) 社長 望月 衛様
6月21日	(有)馬場印刷 (川越) ご尊父 馬場良夫様

4月26日 (第一ホテル日本橋店)
関東甲信越静地区印刷協議会理事長会
出席 新理事長

5月2日 (熊谷ティアラ21)
第1回理事会 5月18日 (さいたま 満寿家)
関東五県厚生年金基金理事会 出席 新理事長

5月20日 (熊谷平安閣)
埼印工組通常総会

5月24日 (東京 アジュール竹芝)
全印工連通常総会

5月27日 (中央会春日部支所)
打合せ
出席 新井副理事長 高橋常務理事 永春氏
篠木氏 事務局佐々木

5月30日 (大宮サンパレス)
中央会通常総会 出席 新理事長 櫻井専務理事

6月3日 (熊谷ティアラ21)
「印刷経営の3つのタイプ」セミナー
青年部通常総会
出席 新理事長 櫻井専務理事 事務局佐々木

6月4日 (熊谷平安閣)
関東甲信越静地区印刷協議会準備委員会
営業士会通常総会

6月8日 (さいたま 満寿家)
関東五県厚生年金基金選挙管理委員会
出席 新理事長

6月9日 (ホテルサンルート熊谷)
中央会北部支部監事会 出席 新理事長

6月10~11日 (筑波山 江戸屋)
関東五県印友会
出席 新理事長 二重作 佐藤各副理事長
櫻井専務理事 事務局深井

6月19~20日 (母畑温泉)
西部工組研修旅行

6月21日 (組合事務所)
Pマーク共同取得に関する説明会

編集後記

◇ 5月20日、通常総会も終って新しい年度が動き出したわけだが、改めて総会議案書(第1号議案=事業報告中、時間の関係で報告割愛された組合活動の会議出席状況部分)を見た。

16年度中、「組織強化」が一つの柱になっていて、戸田地区でアウトサイダーの事業所加入訪問が役員さんによって行われたことが記録されている。加入までには至らなかったようだが、事に当たった役員さんには大変ご苦労様であった。当工組も一時245社の組合員を擁したが、今131社。賦課金収入もぎりぎりの状態まで減ってきてている。己の苦況を凝視することはつらいことだが、目をつぶるわけにはいかない。(S.O)